

退職・現職両会員配布

第 93 号

平成 29 年 7 月 11 日

高退互広報

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目 49 番 10 号 愛知県教育会館 5 F TEL (052) 261-2248 FAX (052) 241-0318

* ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> (高退互で検索)

制度・財政検討委員会が答申を理事会へ

やむなく「長寿祝金」の見直しを答申（療養補助金給付率は変更なし）
金融状況悪化による運用収益減少に対応
実施時期は今後理事会で決定

<事業の見直し（長寿祝金の抑制）は避けられず>

5月22日に第236回理事会、6月7日に97回評議員会が開かれ、新役員と新評議員が選出されるとともに、平成28年度の事業報告及び決算報告について審議され承認されました。事業報告及び決算報告の概要は2面・3面に掲載しています。その他、観劇会など29年度の事業計画も審議され承認されました。また、6月13日には第237回理事会が開かれ、理事長に笹尾幸夫氏が再任されました。（新役員の一覧は4面に掲載しています）

また、第234回理事会（平成28年11月24日開催）において「運用収益減少に対応した本会事業の見直しの検討」についての諮問を受け、平成29年1月18日に第1回を開催して以来3回の委員会を開催し、集中的に検討を行ってきた制度・財政検討委員会（委員長：鳥山勇元理事長）から笹尾幸夫理事長あてに事業の一部見直しについての答申が提出されました。（詳しい答申の内容は別紙の特集をご覧ください）



ごあいさつ

理事長 笹尾 幸夫

昨年度に引き続き理事長を務めさせていただきま

す。
さて、昨年二月より実施されている日銀のマイナス金利政策等の影響により、現在、「運用収益減少への対応」が喫緊の課題となっております。このため、昨年度から制度・財政検討委員会、その対応策について検討をいただき、本年四月に「当面、金融状況の好転は望めないことから、現行の会員事業の一部を見直しざるを得ない」との答申をいただきました。

「定額控除後の七割給付」という現在の療養補助金給付水準を維持し、今後とも本会の安定的運営をしていくためには、やむを得ない対応策ではないかと私も考えております。会員の皆様のご理解をお願い申し上げます。

このように、運用収益が減少しているなどの課題はありますが、現職会員への加入者数や退職会員への移行率は、数年前に比べかなり上昇しています。これは、「終生のセーフティネット」となる本会の必要性がより高まっているとともに、各学校において、本会の意義を周知していただいた結果ではないかと思っております。

本会を次の世代の皆様にも安定的に引き継いでいただけるよう、今後とも努めてまいりますので、会員の皆様には変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。